



まちづくりの**主役**は**あなた**

次期総合計画の策定に向けて、住民意識調査の集計まとまる

富里町は、平成3年に策定した総合計画のもと、「人と緑の共生する都市をめざして」を目標に各種の施策を推進してきました。現在の総合計画が平成12年度をもって終了することから、21世紀のまちづくりの羅針盤となる新しい総合計画（平成13年～22年）の策定にあたり、広範な町民の意識や意向を伺い、次期総合計画に反映させることを目的に住民意識調査を実施しました。このほど、調査結果がまとまりましたので、その概要などをお知らせします。

【調査の概要】

- 調査地域.....富里町全域
- 調査対象.....満20歳以上の男女個人
- 対象者数.....3,000人（抽出率8.1%）
- 抽出の方法.....単純無作為抽出
- 調査の方法.....郵送による配布と回収
- 回収数（率）...1,095人（36.5%）



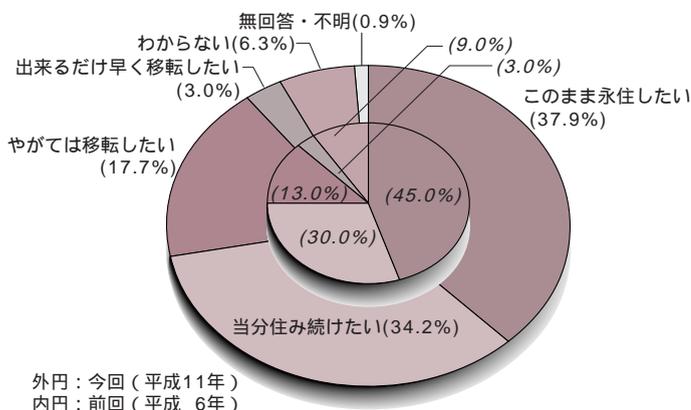
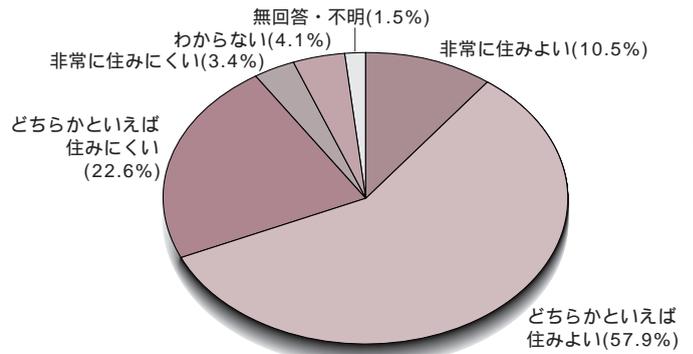
：富里町での暮らしについて

Q：富里町は住み良いと思いますか？

7割近い回答者が「住みよい」と感じている

全体としてみると、回答者の68.4%が富里町を住みよいと感じています。住みよいと感じる人の割合は、年齢が高くなるほど、また、居住年数が多くなるほど高くなる傾向がみられます。地区別では、「浩養」や「富里第一」「七栄」「富里南」の小学校区で住みよいと感じる人が70%を超えています。

また、職業別では、農業の回答者で住みよいと感じる人が92.0%と最も多くなっている一方、学生の回答者の57.9%、パートの回答者の31.8%、主婦の回答者の31.0%が富里町を住みにくいと感じています。



Q：富里町に住んでいきたいと思いますか？

72%の回答者が「住み続けたい」と考えている

回答者の72.1%が富里町に住み続けたいと考えています。今回の結果を平成6年に実施した結果と比較すると、「このまま永住したい」、「当分住み続けたい」と答えた人は合わせて75%から72%へとやや減少しています。

詳細に見ると、年齢や居住年数が増えるにつれて定住意識が高まっていく傾向があります。また、富里町に住み続けたいと答えた人の理由としては、持ち家であることを別として、緑などの自然の豊かさや、地縁・血縁のつながりを理由としてあげる人が多くみられました。

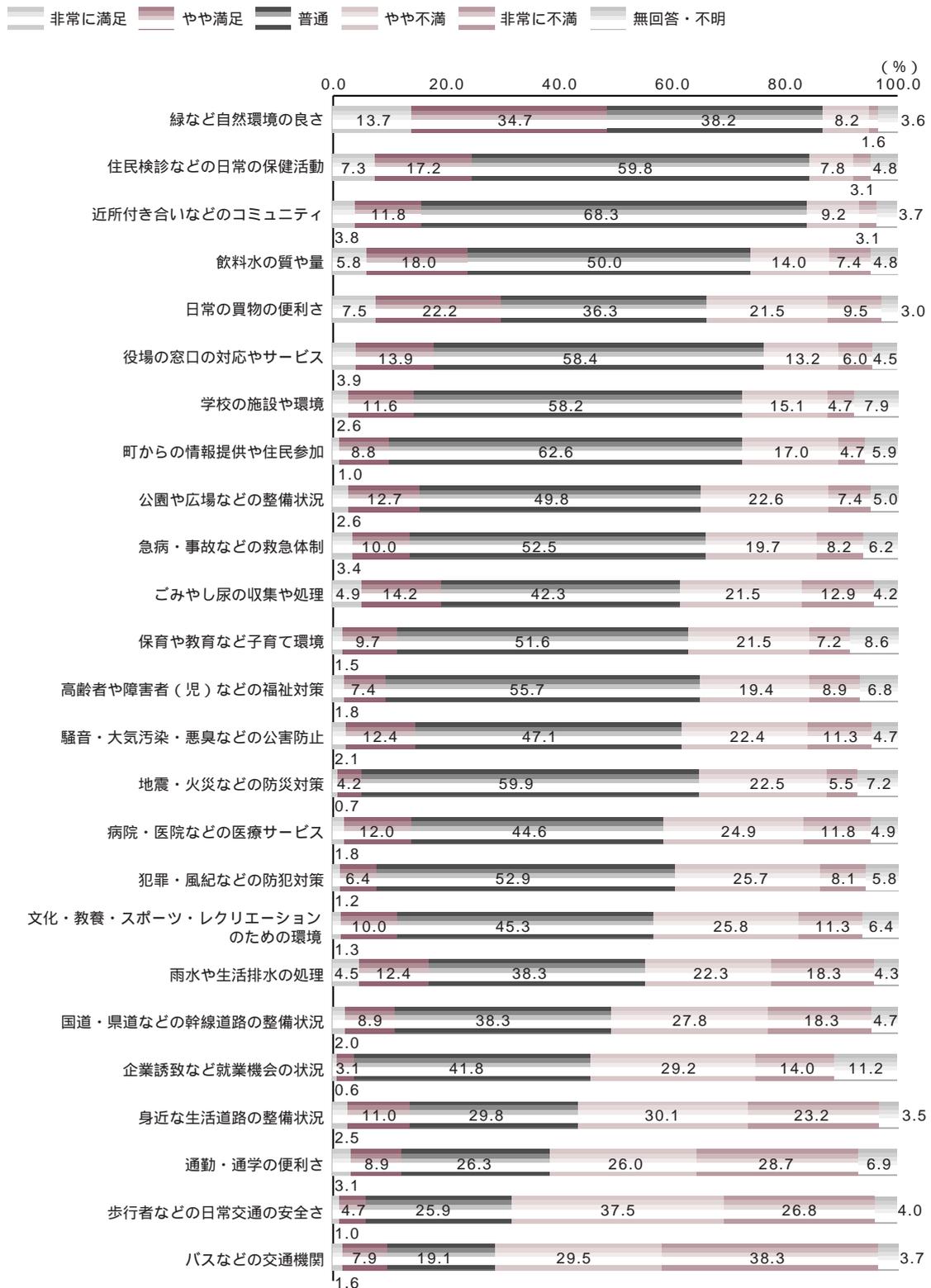
特集
まちづくりの主役はあなた

Q：住んでいる地域の生活環境について、どのように感じますか？

前回の調査と同様、「バス」「交通安全」「通勤・通学」「生活道路」について不満が多い

地域のさまざまな生活環境の満足度について把握するため、全25項目に分けて5段階で評価を伺いました。その中で、最も評価の高かった項目は「緑など自然環境の良さ」であり、逆に最も評価の低かった項目は「バスなどの交通機関」となりました。

また、今回の結果を前回（平成6年）と比べると、特に満足度が大きく伸びたものとして、「病院・医院などの医療サービス」「飲料水の質や量」「学校の施設や環境」「急病・事故などの救急体制」があげられます。





あじさいの咲く富里中央公園

：町政やまちづくりについて

Q：まちづくりへの活動にどのようなかたちで、関わりたいと考えていますか？

まちづくりに「主体的にかかわりたい」とする回答者は約4分の1

まちづくりについては、「経過や内容さえ知らせてもらえれば、基本的には町にまかせたい」が36.7%と最も多く、「町の方であらかじめ原案をつくってもらい、意見や要望を述べる機会には参加していきたい」が25.2%とこれに次いでいます。

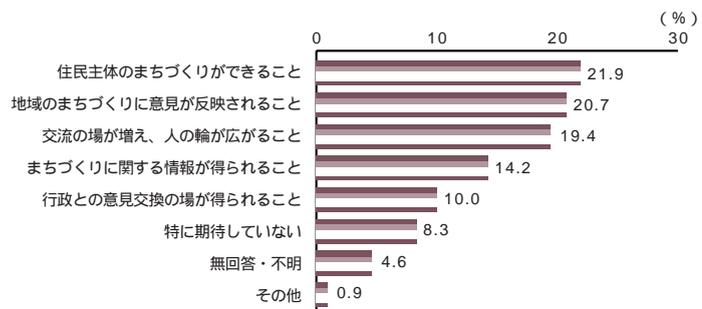
これに対して「まちづくりの案をつくりはじめる段階から積極的に参加し、町と協力しながら主体的にかかわっていききたい」または「小学校区単位など、ある程度地域が限定されれば、まちづくりに主体的にかかわっていききたい」という設問を選んだ回答者はあわせて23.8%と全体の約4分の1となっています。

Q：まちづくりに参加するとしたら、何に期待しますか？

住民主体のまちづくりに22%の回答者が期待を寄せている

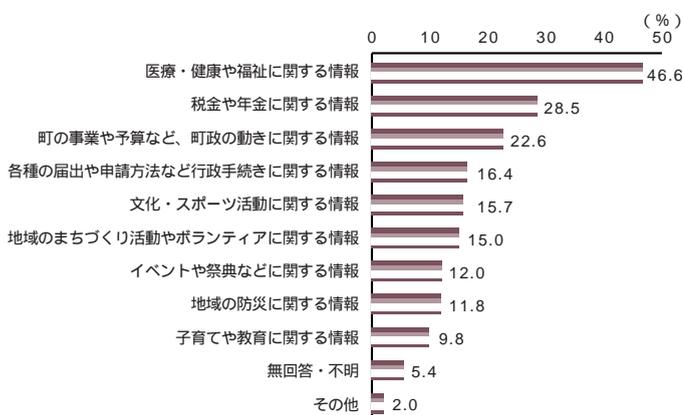
まちづくりに参加することへの期待については、「住民主体のまちづくりができること」と「地域のまちづくりに意見が反映されること」、「交流の場が増え、人の輪が広がること」の3つが上位の結果となりました。

年齢別にみると、40代に「住民主体のまちづくりができること」を選ぶ回答者が多く、40代前半では28.3%に上りました。



Q：まちからどのような情報が欲しいと考えていますか？

医療や健康、福祉に関する情報を求める声強い



町から欲しい情報としては、「医療・健康や福祉に関する情報」が46.6%と最も多く、「税金や年金に関する情報」が28.5%とこれに次いでいます。年齢別にみると、年齢が高くなるほど「医療・健康や福祉に関する情報」を求める回答が増えていく傾向がみられます。

また、30代では、「子育てや教育に関する情報」を求める層が増えていきます。更に、20代、30代を通して「イベントや祭典などに関する情報」を求める回答が多く、20%以上となっています。

：これからのまちづくりについて

Q：将来の富里町のイメージとして、どの言葉がふさわしいと思いますか？

「緑豊かな」「やすらぎのある」「親しみのある」が特に多い
「にぎやかな」「個性的な」「力強い」が特に少ない

富里町のイメージを表す言葉として、最も多かったのが「緑豊かな」であり、「やすらぎのある」、「親しみのある」がこれに次いでいます。その反面、「にぎやかな」、「個性的な」、「力強い」といったイメージは少なく、どれも1%台にとどまっています。年齢別にみると、「緑豊かな」は特に30代後半から50代の層で高く、ほとんどの年齢層で40%台の高い支持を集めました。また、年齢が高くなるにつれて「親しみのある」や「人情味のある」が増えていく傾向がみられ、年齢が低くなるにつれて「のんびりした」が増えていく傾向がみられます。



Q：公共施設について、町内に必要だと思うものと、近隣市町村に必要だと思うものをそれぞれ2つお答えください。

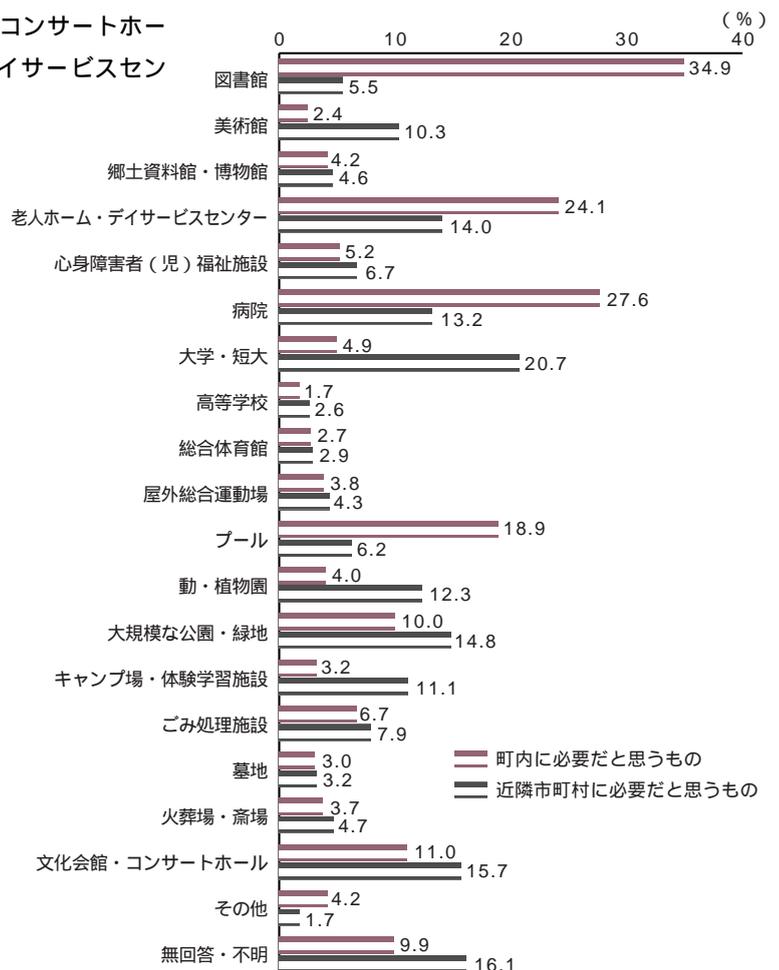
町内では、「図書館」、「病院」、「老人ホーム・デイサービスセンター」が多い

近隣市町村では、「大学・短大」、「文化会館・コンサートホール」、「大規模な公園・緑地」、「老人ホーム・デイサービスセンター」、「病院」が多い

町内に必要だと思う施設で最も多かったのが「図書館」で34.9%となりました。また、これに次いで「病院」(27.6%)、「老人ホーム・デイサービスセンター」(24.1%)、「プール」(18.9%)、「文化会館・コンサートホール」(11.0%)という順になっています。

年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて「老人ホーム・デイサービスセンター」が高くなる一方、年齢が低くなるにつれて「図書館」が高くなる傾向がみられます。特に、20代前半では「図書館」が55.2%に達しています。また30代から40代については「プール」の要望が高く、30代前半で35.0%、40代前半で36.3%と高い割合になっています。居住地区別でも、おおむね全体と同じ傾向が現れていますが、「七栄」、「根木名」、「洗心」の3小学校区で「病院」を求める回答がやや高くなっています。

次に近隣市町村に必要だと思うものについては、「大学・短大」が20.7%と最も多く「文化会館・コンサートホール」(15.7%)、「大規模な公園・緑地」(14.8%)がこれに次いでいます。

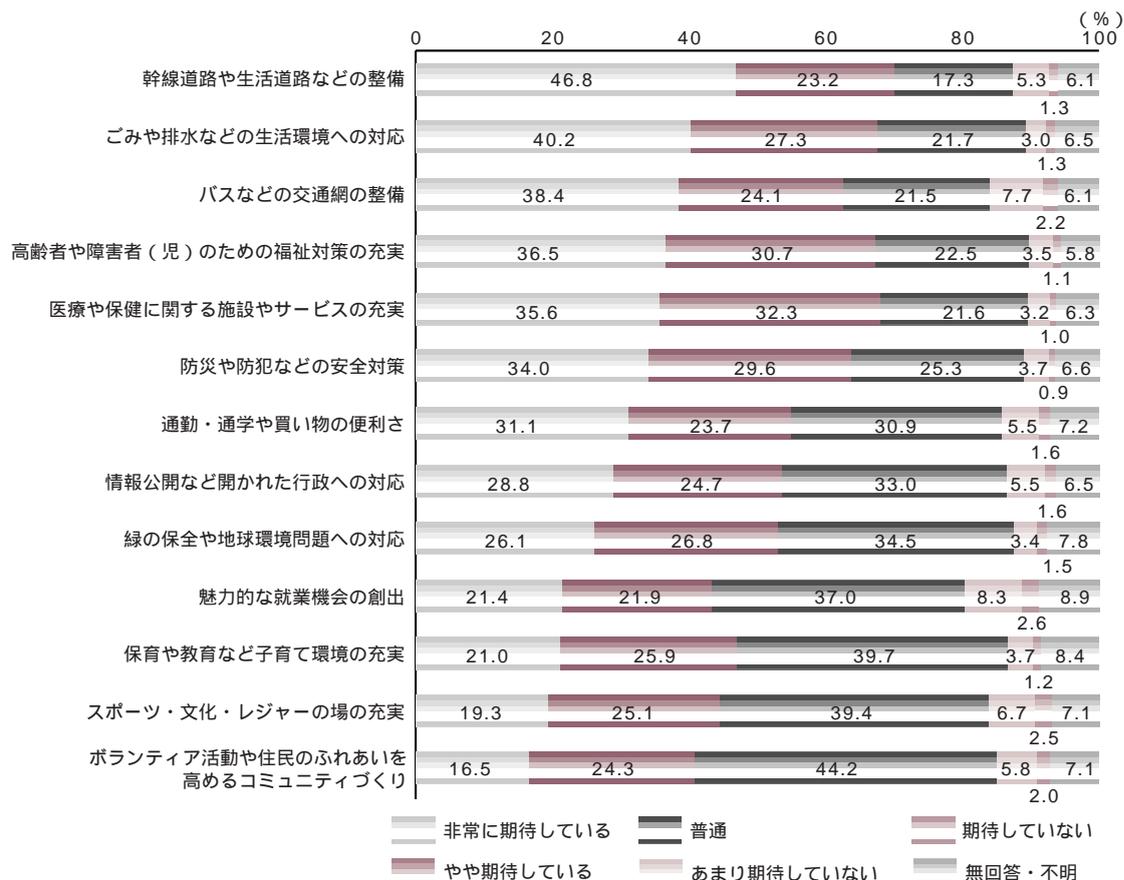


Q：より住みやすいまちづくりのために、期待することは何ですか？

「幹線道路や生活道路などの整備」に最も大きな期待が寄せられている

より住みやすくするために、今後、特に力を入れて欲しいものについては、「幹線道路や生活道路などの整備」を筆頭に、「ごみや排水などの生活環境への対応」、「高齢者や障害者（児）のための福祉対策の充実」、「医療や保健に関する施設やサービスの充実」に高い期待が寄せられる結果となりました。

年齢別にみると、年齢が高まるほど福祉や医療、保健に関する期待が高まっていく傾向がみられます。また、30歳代で「保育や教育など子育て環境の充実」が、また20代と30代で「スポーツ・文化・レジャーの場の充実」への期待が多くなるという特徴がみられます。



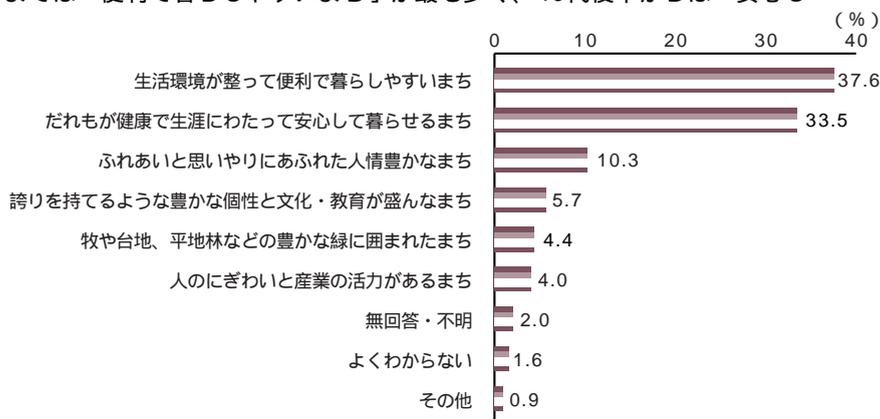
Q：今後どのような、まちづくりを目指していくべきと考えますか？

暮らしにおける「利便性」と「安心」を求める声が多い

今後のまちづくりの方向性については、「生活環境が整って便利で暮らしやすいまち」が37.6%と最も多く、「だれもが健康で生涯にわたって安心して暮らせるまち」が33.5%とこれに次いでいます。

年齢別にみると、20代から40代前半までは「便利で暮らしやすいまち」が最も多く、40代後半からは「安心して暮らせるまち」が逆転して最も多くなる傾向があります。

居住地域別にみると、「便利で暮らしやすいまち」が「安心して暮らせるまち」を上回っているのは「富里」、「七栄」、「根木名」、「富里南」の4小学校区であり、逆に「安心して暮らせるまち」が「便利で暮らしやすいまち」を上回っているのは「日吉台」、「富里第一」、「浩養」、「洗心」の4小学校区となっています。



：誇りや自慢に思うこと（自由回答）



住民意識調査では、アンケートとあわせて富里町の「誇りや自慢に思うこと」を伺いました。ここでは、代表的ないくつかを紹介しします。なお、カッコ内の数字は同様意見の集計件数です。

緑が多い、自然が豊か（189件）

- ・自然がたくさんあると思います。キジや野ウサギを見ながらの生活は、最高です。川崎の町中から移ってきて6年、長生きできそうな感じです。関東のどこに住もうかとあちこち見てきて、千葉に最終的に落ち着き、ここでもよかったと今もつくづく思っています。
- ・高速道路で東京から成田に帰る時、窓から緑の量が増えて来るのが見えると、「富里に、もうすぐ着くな」と、ほっとします。ここに緑があって良かったです。

富里スイカやスイカロードレースが有名（117件）

- ・ずばりいってスイカの味です。季節になると、あっちこっちにスイカを送ります。返事はいつも「こんなおいしいスイカは、全国広しといえど、どこにもありません」これが富里町に住んでいる私の自慢です。

農産物がおいしい、新鮮、安い（66件）

- ・新鮮な野菜と果物が豊富な町です。とれたての物を実家に持って行ってあげると、とても喜ばれます。ナス、キュウリ、スイカは富里に限ると言われます。
- ・緑が多く空気がきれい。野菜類も安く、新鮮なものが食べられ、生活はとてもしやすい町だと思います。

成田空港に近くて便利（39件）

- ・仕事から、海外にでかけることの多い我が家にとって、15～20分くらいで空港を利用できる便利さに大変満足しています。

買い物や通勤・通学に便利（29件）

- ・日吉台は、学校や駅、病院、スーパーが近くにありとても便利です。

災害や犯罪が少なく安全（27件）

- ・大きな犯罪や災害もなく、平和に毎日が送れることです。

空気がきれい（25件）

- ・空が高く、星空がよく見えて、空気の良さを感じます。
- ・住宅地域と工業地域とがきちんと区分されていて、排煙などがあまり気になりません。

周りの環境が静か（24件）

- ・国際空港がすぐ隣にあるのに、静かで緑も多く、住宅街もあることです。

人情が豊かでやさしい（20件）

- ・昔ながらの人情があり、お互いに信頼し合う関係、助け合う関係を大切に生活しています。道端であいさつを交わし合ったり、声をかけ合ったりすることが自然に行われ、その中で子供たちが育っていった欲しいと考えています。
- ・古くからの住民のみなさんは純朴で、移住してきた人々への差別感など全然見受けられなく、住みよいところだと誇りに思います。

町がのんびりのどかで、やすらげる（19件）

- ・不便さが目につき、住みはじめた頃はあまり愛着がありませんでしたが、年々この町が好きになり、大切に思うようになりました。それは、地域の人たちの温かさや、富里の大地からくる、ふしぎなやわらかい心にしてくれる空気だと思います。
- これからは、この町をもっと良くし、一生安心して住み続けていけるようにと思っています。

ごみの真空輸送システム（17件）

- ・日吉台に住んで16年になりますが、ごみポストがあり、野良猫、カラスの被害がなく清潔な所です。

子育てのための環境がいい（15件）

- ・緑が多く、他の市町村に比べると子供たちが、のびのびとしているように見えます。

地域での交流や活動が盛ん（14件）

- ・農作物の収穫の時期になると、近所の農家の方から野菜などをもらったりすることがあるように、まだ地域の交流が盛んに行われている所です。

高速道路やインターチェンジ（14件）

- ・富里インターチェンジがあるので、車での移動はとても便利だと思います。

調査へのご協力ありがとうございました。

住民意識調査にお答えいただいた町民のみなさん、ご協力ありがとうございました。町では、みなさんからいただいた多くの貴重なご意見を参考にしながら、

新しい総合計画の策定に取り組んでいます。だれもが住みやすい富里とするため、今後まちづくりに対するご支援をお願いします。

問 企画課企画調整係 内線284